

Coffee Market Report

August 2024



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

ロブスタ価格は47年ぶりの高値を2か月連続で更新した

グリーンコーヒー価格

- 2024年8月のICO総合指標価格（I-CIP）の月次平均は238.92セント（米セント/ポンド、以下同様）で、2024年7月から1.0%上昇した。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドは8月にそれぞれ2.3%と1.7%上昇して、263.76セントと261.44セントだった。ブラジルナチュラルも上昇し、8月は1.0%上昇して242.19セントだった。ロブスタは安定して推移し214.68セントだった。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、7月の0.72セントから8月は2.33セントに拡大した。
- ロンドンとニューヨークの先物市場の間で測定されたアービトラージは、8月に1.7%拡大して41.37セントだった。
- I-CIPの2024年8月のボラティリティは0.5パーセントポイント低下して10.9%だった。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

- コロンビアマイルドの輸出量は2023年7月の89万袋から2024年7月は105万袋へ17.7%増加した。
- アザーマイルドの輸出量は2023年7月の201万袋から6.3%増加して2024年7月は214万袋だった。
- ブラジルナチュラルは2023年7月の265万袋から18.0%増加して2024年7月は313万袋だった。
- ロブスタは2023年7月の359万袋から2024年7月は371万袋へ3.3%増加した。

地域別のコーヒー輸出量 - 全形態

- アジアおよびオセアニア地域の2024年7月輸出量は前年同時期に対して8.1%減の277万袋だった。
- アフリカ地域の輸出量は2023年7月の141万袋から2024年7月は190万袋へ34.7%増加した。
- 南米地域の2024年7月の輸出量は26.0%増加して524万袋だった。
- メキシコおよび中央アメリカ地域の2024年7月の輸出量は2023年7月の148万から7.1%減少して138万袋だった。

コーヒー形態別の輸出量

- ソリュブルコーヒーの輸出量は2023年7月の86万袋から2024年7月は38.8%増加して120万袋となり、コーヒーの総輸出に占めるソリュブルコーヒーのシェア（年初からの累計）は、9.2%だった。
- 焙煎豆の輸出量は2023年7月の53,655袋から2024年7月は13.0%増加して60,651袋だった。

グリーンコーヒー価格

2024年8月のICO総合指標価格（I-CIP）の月次平均は238.92セントで、2024年7月から1.0%上昇した。中央値は239.84セント、価格レンジは222.58～254.12セントだった。2024年8月のI-CIPは2023年8月のI-CIPを54.6%上回っており、12か月移動平均は192.89セントだった。



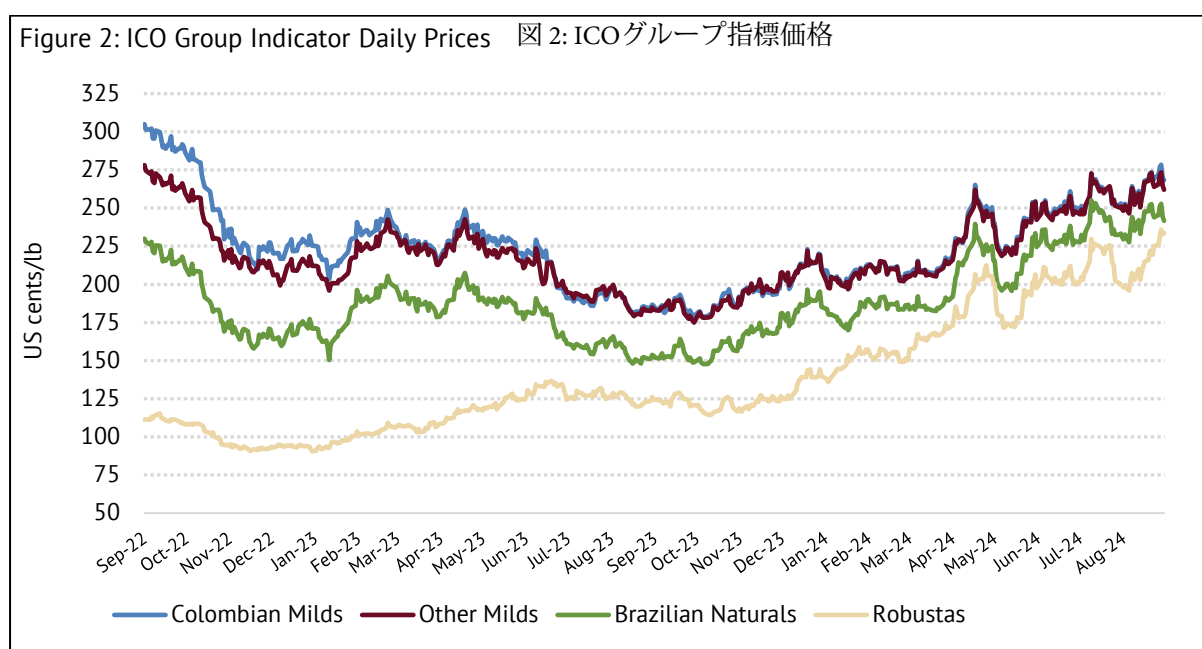
コロンビアマイルドとアザーマイルドは8月にそれぞれ2.3%と1.7%上昇して、263.76セントと261.44セントだった。ブラジルナチュラルも上昇し、8月は1.0%上昇して242.19セントだった。ロブスタは安定して推移し214.68セントだった。ニューヨークとロンドンのICE市場は価格上昇の原動力となり、先物価格はそれぞれ2.1%と2.2%上昇して239.61セントと198.24セントだった。アラビカ先物は2022年2月以来の最高値、ロブスタ先物は1977年5月以来の最高値だった。

2024年8月のICO複合指標価格は一貫した上昇傾向をたどり、8月28日に254.12セントのピークに達した。世界的な経済情勢は依然として相対的な加熱感が続き、世界中で金利が高止まりにあるため利用可能なコストの低い資金は限られている。

さらに、中東における地政学的な緊張は、コンテナ供給の安定性や航路船腹のオペラビリティに悪影響を及ぼし続けている。航路は依然としてスエズ運河から迂回して喜望峰回りとなっている。過去6年間の累積需給バランスが1,310万袋にとどまるなど世界的な供給の逼迫状況と相まって、これらの要因がI-CIPに価格の上昇圧力となっている。

現在の経済環境では、大量の在庫を比較的安い金利で保有できるケースは限られている。したがって、在庫購入資金を借入調達することの費用対効果が低いことから、コーヒーをジャストインタイムで購入する方式の拡大影響は市場でも感じられるところである。供給が幾分制限されているなかで需要は依然として高いことから、コーヒーの短期的な市場価格形成に上昇圧力がかかっている。

8月末に米国のジャクソンホールで開催された主要な中央銀行総裁や経済学者の会合では、高金利からの金融政策転換を示唆する新たなコンセンサスが生まれつつあった。高金利はインフレ上昇への対応に役立ってきたが、欧州中央銀行とイングランド銀行が基準金利の引き下げを開始したことで、コーヒー価格にどのような影響があるのだろうか。0.25ポイントの低下自体は金融政策の実質的な変更を意味するものではないが、中央銀行が労働市場への悪影響はなく、インフレは抑制され、景気後退のリスクもないと判断した場合、さらなる金利引き下げにつながる可能性がある。したがって、これは金利の低下により市場参加者がレバレッジドファイナンスの恩恵を享受できることを示唆しており、ジャストインタイムのコーヒー購入が減少する可能性がある。理論的に、購入頻度の減少の意味するのはI-CIP への下方圧力ですが、資金調達コストの低下はコーヒーバリューチェーン事業者が、高金利環境下では不可能だった枯渇した在庫の補充を求める購入活動の急増にもつながる可能性がある。



コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は7月の0.72セントから8月は2.33セントに拡大した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は7月から8月にかけて19.1%拡大し21.57セントに、コロンビアマイルドとロブスタの価格差も13.9%上昇して49.08セントとなった。一方、アザーマイルドとブラジリアンナチュラルの価格差、アザーマイルドとロブスタの差額は、それぞれ10.6%と10.3%拡大して19.25セントと46.76セントだった。ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は10.1%拡大して27.51セントだった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

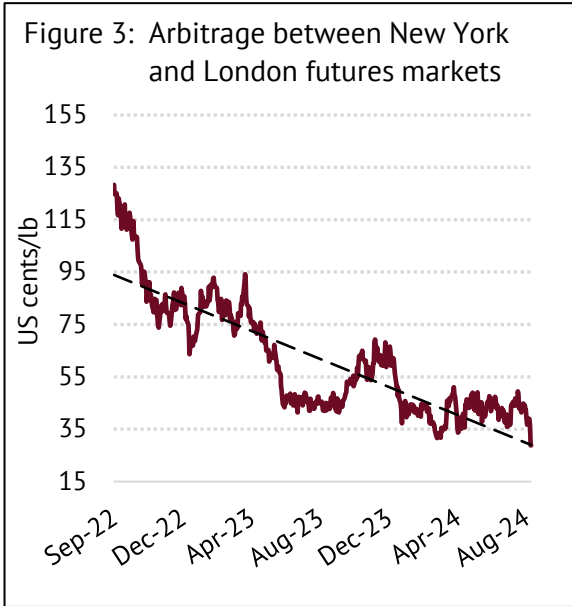
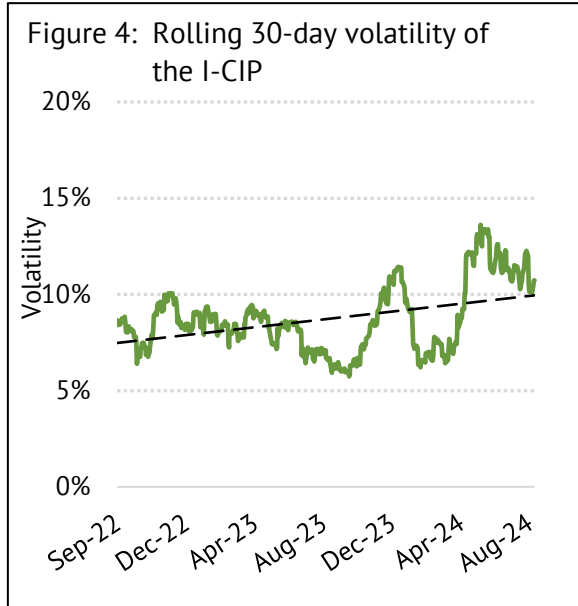


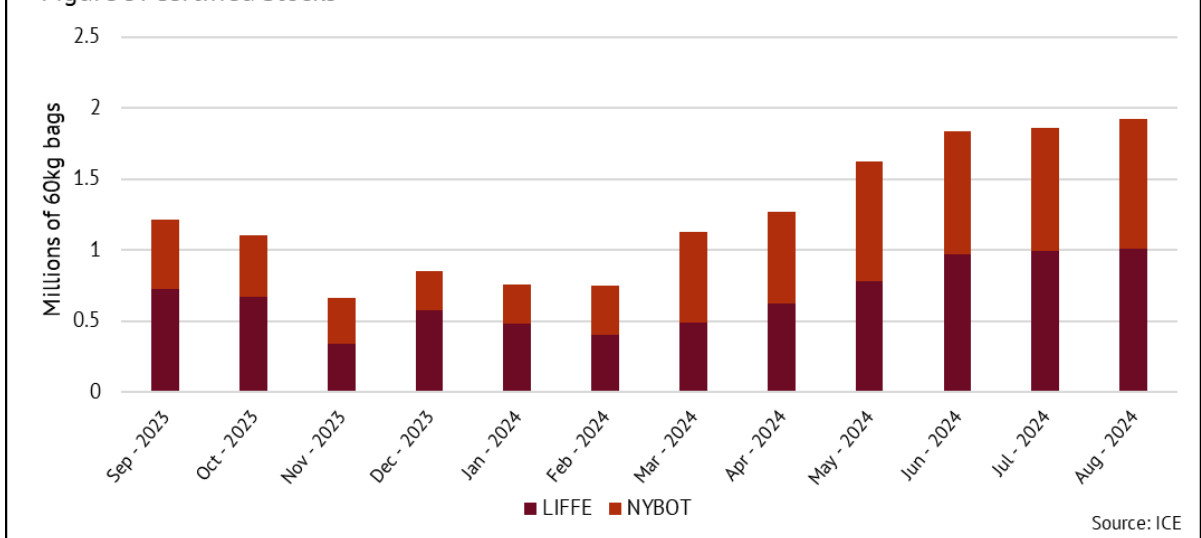
図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ロンドンとニューヨークの先物市場の間で測定された裁定取引は、2024年8月に1.7%拡大して41.37セントだった。

ICO複合指標価格の2024年8月のボラティリティは0.5パーセントポイント低下して10.9%だった。コロンビアマイルドのボラティリティは0.4パーセントポイント減少した。アザーマイルドとブラジルナチュラルのボラティリティは7月から8月にかけて、それぞれ0.3パーセントポイントと0.9パーセントポイント低下して10.8%と11.5%となった。ロブスタおよびニューヨーク先物市場のボラティリティは12.1%で安定して変わらず、ロンドン先物市場は0.1パーセントポイント上昇して13.5%だった。

Figure 5: Certified Stocks 図 5: ニューヨークとロンドンの先物市場の認証在庫



ロンドン・ロブスタ認証在庫は2024年8月も微増を続け2.3%増の101万袋となった。ニューヨーク・アラビカ認証在庫は91万袋に達し2024年7月比4.5%増加した。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

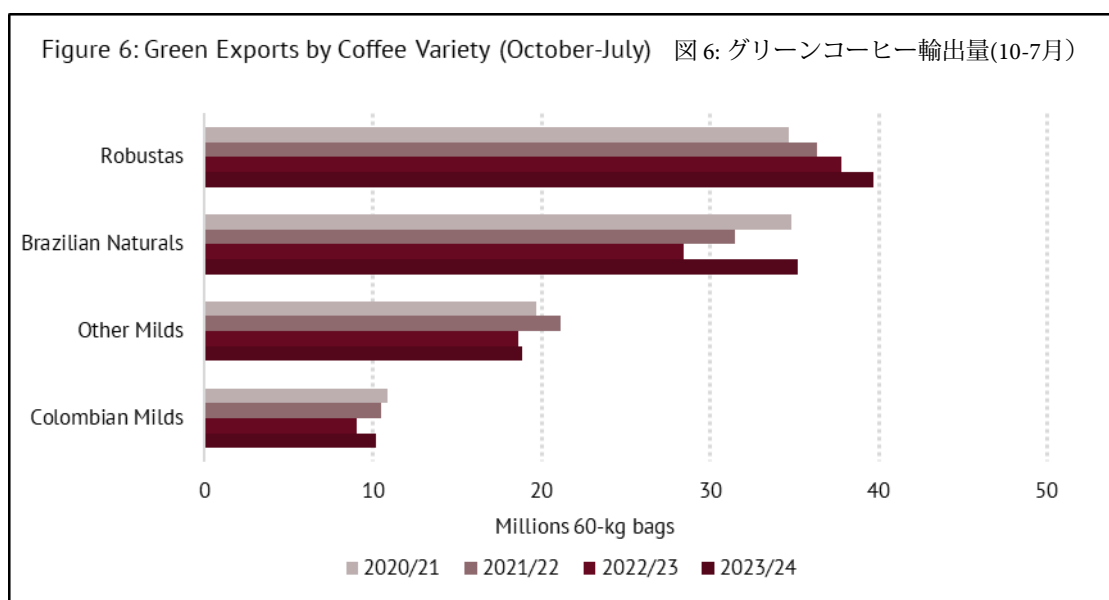
2024年7月の世界のコーヒー生豆輸出量は1,003万袋で、前年同月の914万袋に対して9.6%増加した。2024年7月までの2023/24コーヒー年度は1億308万袋で、前年度同時期の9,388万袋に対して10.6%増加した。ブラジルナチュラルは、2024年7月の世界のコーヒー生豆輸出量の純増88万袋のうち54.2%を占めている。

コロンビアマイルドの輸出量は、2023年7月の89万袋から2024年7月は105万袋へ17.7%増加した。輸出の急増はグループ最大の生産・輸出国であるコロンビアが牽引しており、同国の2024年7月の輸出量は21.4%増加している。コロンビアの本年度輸出量の累計は910万袋で、前年度同時期の2022年10月から2023年7月までの輸出量791万袋に対して15.0%増加した。コロンビア、そしてコロンビアマイルドの輸出量は2020/21コーヒー年度の1,283万袋から2022/23年度の987万袋まで減少した3年連続の低迷期から脱して正常化を受け続けている。コロンビアの昨年度の輸出量水準は、2012/13コーヒー年度の884万袋以来最低だった。その結果、2023/24コーヒー年度経過10ヶ月累計のコロンビアマイルド輸出量は、2022/23年度同時期の905万袋に対して12.1%増の1,014万袋を記録しているが、歴史的に見るとその水準は依然として低い。

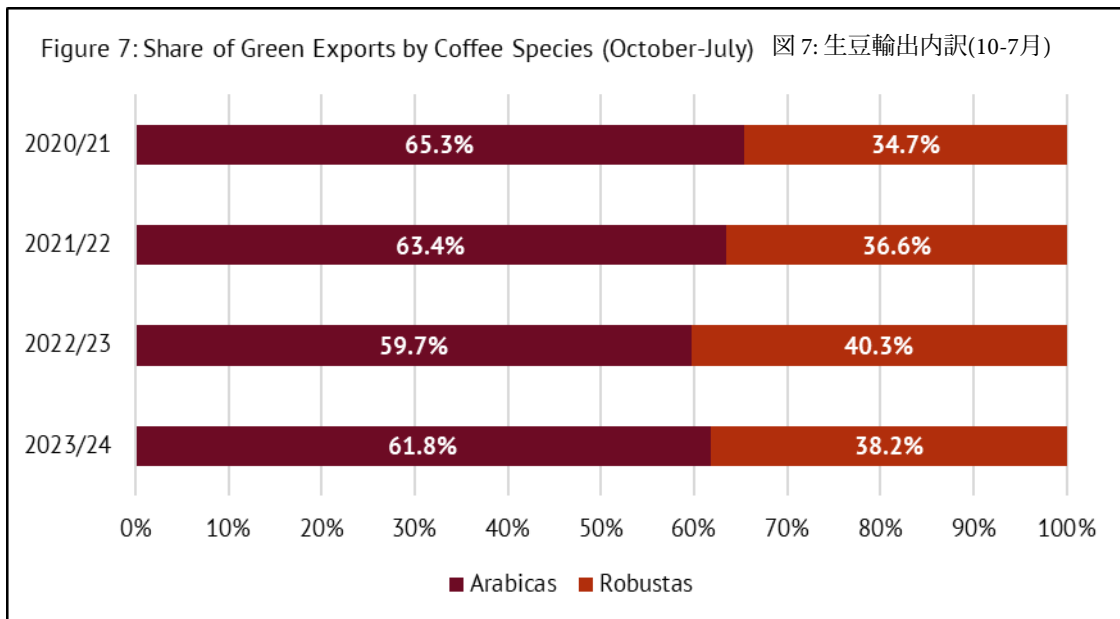
アザーマイルドの2024年7月の輸出量は、前年7月の201万袋から6.3%増加し214万袋だった。月次での輸出量増加は今コーヒー年度で4回目となる。2023/24コーヒー年度経過10か月の累計輸出量は前年度同時期の1,858万袋に対して1.3%増加して1,881万袋だった。エチオピアとペルーは地域の輸出量増加6.3%の原動力であり、両国合わせて22万袋の純増を記録しているが、一方、ホンジュラスが14万袋の純減となっている。ホンジュラスは現在、隔年生産サイクルの「裏年」にあり、2024年7月までの累計輸出量は421万袋で、前年度同時期の473万袋に対して11.0%の減であり地域全体のアザーマイルド輸出実績に対するマイナスの重しとなっている。

ブラジルナチュラルの2024年7月の生豆輸出量は、2023年7月の265万袋から18.0%増の313万袋だった。この大幅な増加は、ブラジルとエチオピアの輸出量がそれぞれ13.7%と63.3%増加したことによる。2023年7月の216万袋と30万袋から、2024年7月には246万袋と49万袋に増加した。基本的に、7月の増加の大半は、ブラジルの隔年生産周期の循環効果によるものであり、ブラジルナチュラルは現在のコーヒー年度が「表年」となる。さらに、エチオピアに関して、同国の7月輸出量の2桁増加は、契約紛争（現地購入価格と世界市場価格の不一致から生じたもの。2023暦年上半期の輸出量に大きく影響を与えた）の解決および物流環境の改善によるところが大きい。2024年初頭には、かつて1日あたり1隻の輸出用船舶が利用可能であったものが、1か月あたり1隻にまで減少した。しかし、2024年3月下旬の時点で、海運会社マースクが内陸エチオピアの主要輸出港であるジブチ発着のすべての予約停止措置を解除したことから、この問題はほぼ解決された。当該一時停止措置の解除は2024年1月30日に実施された。ブラジルナチュラルの2023/24コーヒー年度経過10か月累計の生豆輸出量は3,517万袋に達し前年度同時期の2,844万袋から23.7%増加した。

ロブスタの生豆輸出量は、2023年7月の359万袋から2024年7月は371万袋へ3.3%増加した。これは2か月連続の減少につづいて増加に転じたものだが、累計での増加率は鈍化を続けており、2024年6月の5.2%から2024年7月には5.0%に低下している。2023/24コーヒー年度経過10か月の累計輸出量は3,969万袋、一方、2022/23年度同時期の累計輸出量は3,780万袋だった。7月の比較的緩やかな輸出量増加の主な要因は、ブラジル（78.3%増、40万袋）とウガンダ（31.6%増、19万袋）の増加と、これに対して世界最大のロブスタコーヒー輸出国ベトナム（29.1%減、50万袋）の減少が重なったことである。さまざまな報道機関によると、ベトナムは国内の供給量不足に苦しみ続けており、新年度クロップが市場に出るのを待つ間にベトナムの在庫は著しく枯渇しているとのこと。



アラビカの生豆輸出量全体に占めるシェアは、2023年7月の60.7%から2024年7月には63.0%に増加している。コーヒー年度累計でのアラビカの輸出量シェアは、2023年7月時点の59.7%から2024年7月は61.8%である。



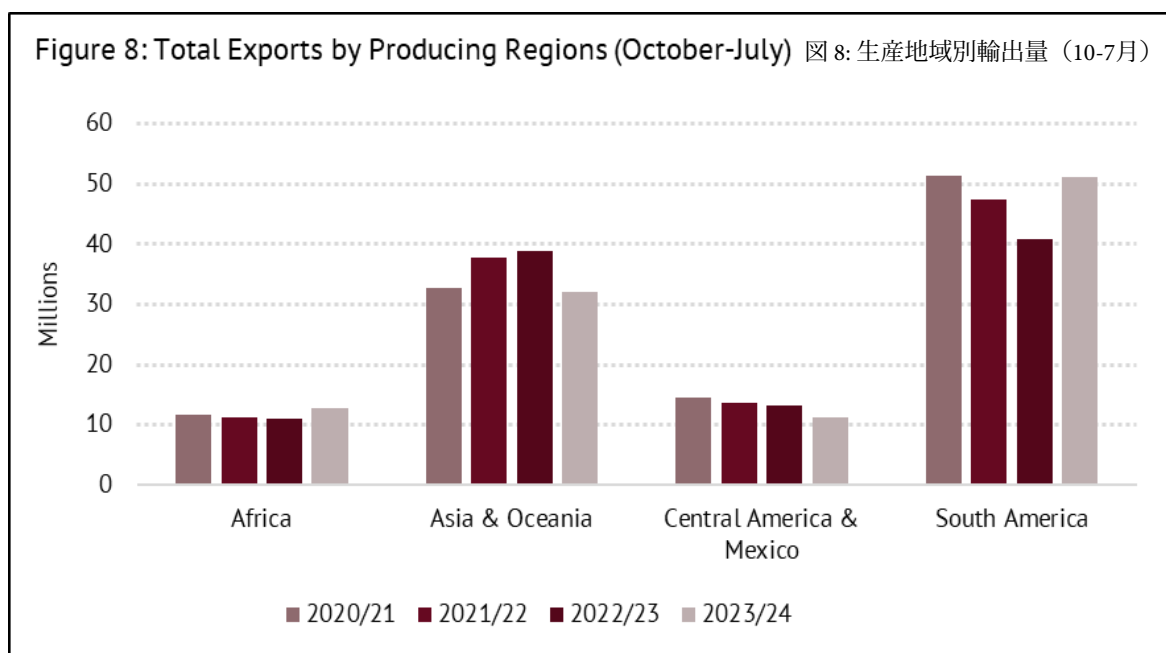
地域別のコーヒー輸出量 - 全形態

アジア・オセアニア地域の2024年7月のコーヒー輸出量は、前年同時期に対して8.1%減少して277万袋だった。今月の減少は、月次の減少としては今コーヒー年度で8回目、6か月連続の減少だった。2023/24年度累計は前年度同時期の3,888万袋から8.8%減少して3,546万袋だった。この地域全体の輸出動向はアジア・オセアニア地域最大のコーヒー生産国および輸出国であるベトナムによって左右され、同国の2024年7月の輸出量は29.1%減の131万袋だった。ベトナムの輸出量減少は、月次の減少としては2023/24コーヒー年度において8回目、6ヶ月連続の減少だった。その結果、2024年7月までの同国の累計輸出量は、前年度同時期の2,596万袋に対して12.2%減少して2,279万袋に落ち込んだ。この輸出量減少は、国内供給量の不足によるもので、まだ1か月先の2024/25年度クロップからの供給を待つ状況にある。ベトナムの輸出量減少に対する地域内での緩和要素としてインドネシアの輸出量増加がある。同国輸出量は2023年7月の50万袋から2024年7月には79万袋となり57.3%増加している。

アフリカ地域のコーヒー輸出量は、2023年7月の141万袋から2024年7月は190万袋へ34.7%増加した。その結果、2023/24コーヒー年度経過10か月間の累計輸出量は1,287万袋となり、前年度同時期の累計輸出量1,110万袋に対して15.9%増加した。エチオピアとウガンダが2024年7月の地域輸出量増加の原動力であり、輸出量はそれぞれ63.6%、27.2%増加した。前年7月の44万袋と65万袋に対して2024年7月の輸出量はそれぞれ72万袋と82万袋だった。ウガンダコーヒー開発庁は、2024年7月の輸出が好調だった理由として、グレートマサカ地域と南西部地域で新たに収穫されたロブスタが市場に流通した結果であると報告している。エチオピアに関しては、交通インフラと契約紛争の解決が最近の二桁増加の要因となっている。

南米地域の2024年7月の輸出量は前年7月に対して26.0%増の524万袋だった。その結果、2023/24コーヒー年度経過10か月の累計輸出量は5,437万袋となり、前年度同時期の4,087万袋に対して33.0%増加しました。ブラジルが増加の主因であり、同国輸出量は2023年7月の300万袋から2024年7月は26.2%増の380万袋だった。

メキシコおよび中米地域の2024年7月の輸出量は2023年7月の148万袋に対して7.1%減の138万袋だった。その結果、2023/24コーヒー年度経過10か月の累計輸出量は、前年度同時期の1,320万袋に対して6.8%の減の1,230万袋となった。2024年7月の輸出量減少は主に、ホンジュラスの輸出量が26.1%減少したことを反映している。ホンジュラスからの輸出量減少の要因は隔年生産サイクルの裏年によるものである。



形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの輸出量は2023年7月の86万袋から2024年7月は38.8%増の120万袋だった。2023/24コーヒー年度経過10か月の累計輸出量は1,059万袋で、前年度同時期の958万袋から10.5%増加した。

コーヒー輸出量合計に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2024年7月時点（2023/24年度累計ベース）で9.2%で2023年7月と同水準だった。ブラジルはソリュブルコーヒーの最大の輸出国で、2024年7月の輸出量は40万袋だった。

焙煎豆の輸出量は、2023年7月の5万3,655袋に対し、2024年7月は13.0%増の6万651袋だった。2023/24コーヒー年度の2024年7月までの累計輸出量は60万袋で、前年度同時期の輸出量は59万袋だった。

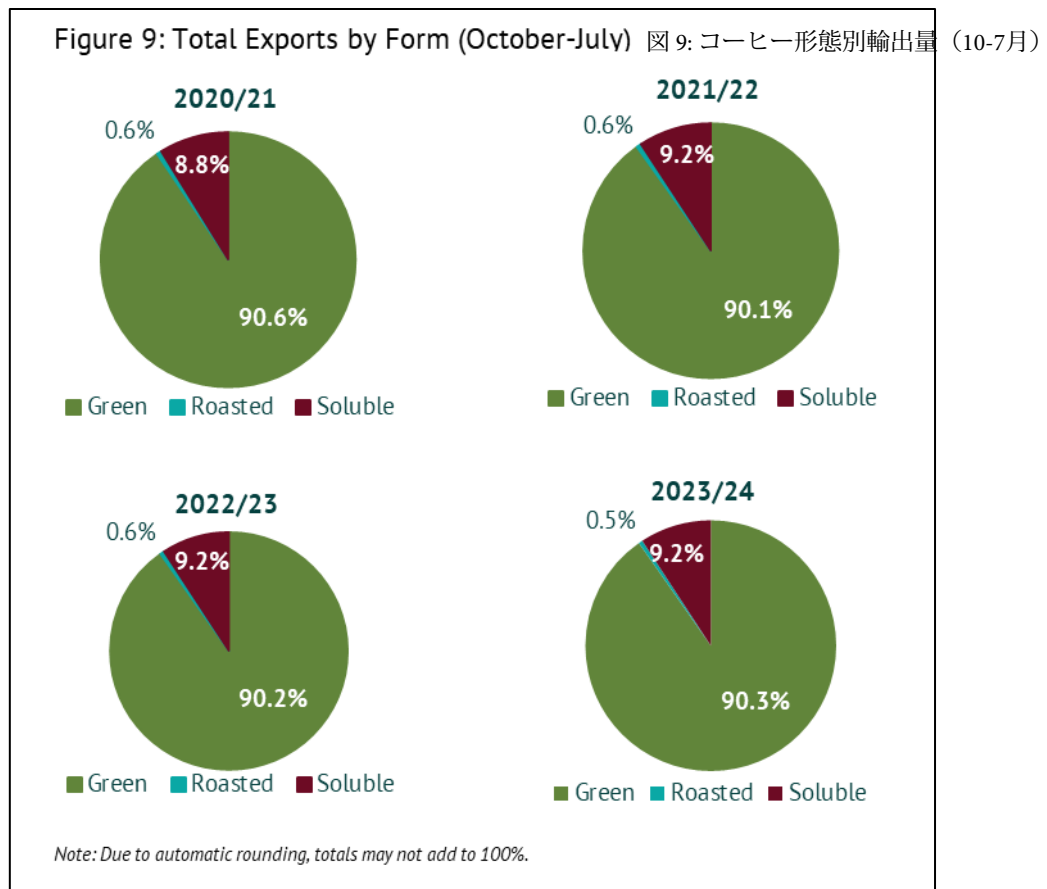


表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Sep-23	153.13	184.98	183.52	154.19	123.89	153.55	109.14
Oct-23	151.94	185.97	183.95	155.52	118.83	155.91	105.40
Nov-23	161.53	195.85	197.18	169.25	122.63	170.25	110.45
Dec-23	175.73	210.68	210.76	185.23	135.47	186.67	123.91
Jan-24	176.41	205.62	203.30	179.32	148.47	183.06	135.84
Feb-24	182.04	209.53	208.78	186.74	153.23	185.37	142.43
Mar-24	186.38	210.26	208.85	185.76	165.84	184.59	148.53
Apr-24	216.89	241.80	239.73	218.77	193.65	217.97	176.04
May-24	208.38	233.50	232.11	209.78	184.97	208.86	165.11
Jun-24	226.83	250.39	248.39	229.25	204.30	226.42	182.82
Jul-24	236.54	257.82	257.10	239.70	214.72	234.62	193.93
Aug-24	238.92	263.76	261.44	242.19	214.68	239.61	198.24
% change between Jul-24 and Aug-24							
	1.0%	2.3%	1.7%	1.0%	0.0%	2.1%	2.2%
Volatility (%)							
Jul-24	11.4%	11.1%	11.1%	12.4%	12.1%	12.1%	13.4%
Aug-24	10.9%	10.7%	10.8%	11.5%	12.1%	12.1%	13.5%
Variation between Jul-24 and Aug-24							
	-0.5	-0.4	-0.3	-0.9	0.0	0.0	0.1

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Sep-23	1.46	30.79	61.09	29.33	59.63	30.30	44.41
Oct-23	2.02	30.45	67.14	28.43	65.12	36.69	50.51
Nov-23	-1.33	26.60	73.22	27.93	74.55	46.62	59.81
Dec-23	-0.08	25.45	75.21	25.53	75.29	49.76	62.77
Jan-24	2.32	26.29	57.15	23.98	54.83	30.85	47.22
Feb-24	0.75	22.80	56.30	22.05	55.56	33.51	42.94
Mar-24	1.41	24.50	44.42	23.09	43.01	19.92	36.06
Apr-24	2.07	23.03	48.14	20.96	46.07	25.11	41.93
May-24	1.39	23.72	48.53	22.33	47.14	24.81	43.74
Jun-24	2.00	21.13	46.08	19.13	44.08	24.95	43.60
Jul-24	0.72	18.12	43.10	17.40	42.38	24.98	40.69
Aug-24	2.33	21.57	49.08	19.25	46.76	27.51	41.37
% change between Jul-24 and Aug-24							
	222.2%	19.1%	13.9%	10.6%	10.3%	10.1%	1.7%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
PRODUCTION	169.8	168.4	170.8	168.0	168.2	178.0	5.8%
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
CONSUMPTION	171.2	168.6	169.9	176.6	173.1	177.0	2.2%
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
BALANCE	-1.3	-0.2	0.9	-8.6	-4.9	1.0	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	Jul-23	Jul-24	% change	Year to Date Coffee Year		
				2022/23	2023/24	% change
TOTAL	10,062	11,286	12.2%	104,050	115,008	10.5%
Arabicas	6,069	7,025	15.7%	61,582	70,324	14.2%
<i>Colombian Milds</i>	972	1,129	16.2%	9,947	10,929	9.9%
<i>Other Milds</i>	2,262	2,404	6.3%	20,939	21,461	2.5%
<i>Brazilian Naturals</i>	2,836	3,491	23.1%	30,695	37,935	23.6%
Robustas	3,993	4,261	6.7%	42,469	44,684	5.2%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Sep-23	Oct-23	Nov-23	Dec-23	Jan-24	Feb-24	Mar-24	Apr-24	May-24	Jun-24	Jul-24	Aug-24
New York	0.49	0.44	0.32	0.28	0.27	0.35	0.63	0.64	0.84	0.86	0.87	0.91
London	0.73	0.67	0.34	0.57	0.48	0.40	0.49	0.63	0.78	0.97	0.99	1.01

In million 60-kg bags